

ソーシャルインクルージョン

「社会的に弱い立場にある人々を含むすべての人を地域社会で受け入れ、共に生きていく」

ソーシャル・インクルージョンとは…

社会的に孤立しやすく、社会的に排除される可能性のある人々を社会的なつながりの中に内包し、社会の構成員として支えあうことを意味する言葉です。

「人間らしい生活を継続的に営める社会や環境」を実現するためには、できる限り社会との繋がりの中で働くということが大切です。

- 自分自身の社会的な役割が自覚できること
- 社会に役立っているという実感が得られること
- 労働で得られた正当な対価としての賃金で、普通の暮らしが実現できること

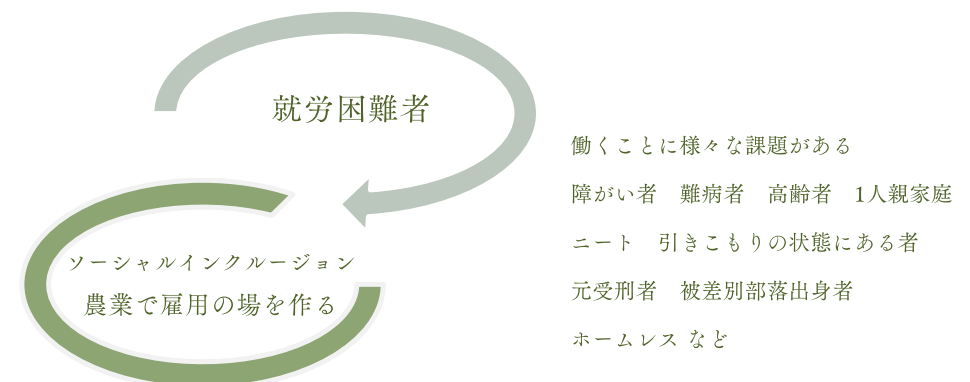
この3つのことがとても重要です。

働くことに対する様々な課題を抱える人々

- 就労困難者は、約1,500万人以上いるといわれている
- 十分な支援が行きわたっているとは言えない

自立した日常生活や社会生活が求められている

- 働く意欲があっても雇用の場が少ない
- 地域で自立して暮らすためには雇用の場が必要



はじまりは…

私たちの取組は、更生保護の対象者であって、障害を有する 一人の青年を受け入れたことでスタートしました。

更生保護の協力雇用主 として、触法等障害者の更生支援にも取り組んでいます。



更生保護とは…

更生保護は、犯罪や非行をした人が社会に復帰し、自立することを支援する活動

高齢である、障害があるなどの理由で、自分の力だけで社会復帰し、自立した生活を送っていくことが困難な人もいる

社会の一員として立ち直るためには…

- ✓ 本人の立ち直ろうという強い意志が必要
- ✓ 社会生活を支援する体制を整えることが重要
- ✓ 地域の中で、立ち直るための居場所を得ることが大切
- ✓ 地域社会の理解と協力が不可欠

農業・福祉 両方の充実を図る

一般社団法人 THE CHALLENGED 設立

人は、生きていくうえで様々な困難と遭遇します。

私たちは、人間の可能性を信じ、自らと向き合い、困難を乗り越え、常にチャレンジし続けるという思いを込めて、
THE CHALLENGED（挑戦する者たち）を法人名としています。



課題

- ・福祉の知識不足、支援力不足
- ・障害のある方等への環境の整備
- ・周年雇用の体制、安定的な仕事
- ・福祉関係事業の利用・支援

- ・農業福祉両方の知見を持つ職員の育成
- ・農業技術・知識の向上
- ・就労の場としての農地確保
- ・支援を充実、安定的な就業を図る
- ・福祉関係機関との連携強化
- ・収益事業として農業での事業展開

(平成24年9月)

● 就労継続支援A型 K'sファーム 開所

作業内容

- ・輪菊の電照施設栽培
- ・シンテッポウユリの施設・路地栽培
- ・農作業受託（施設外就労）

定員 20人

(令和2年2月)

● 就労継続支援B型 K's bee 開所

作業内容

- ・仏花用花パックの制作・販売
- ・農作業受託（施設外就労）

定員 20人

農福連携が広がるならば・・・

「農福連携」が進展し広がるならば、私たちは農業を支え

農業は、障がい等を有する方が社会の役割を果たす場を提供することができます。

「誰もが共に働き、共に支え合える社会の実現」

をめざした私たちの挑戦

(THE CHALLENGED)

地域に根ざした、誰もが働ける・活躍できる場の構築